第6次藤枝市総合計画 Fujieda City Comprehensive Plan for 2030

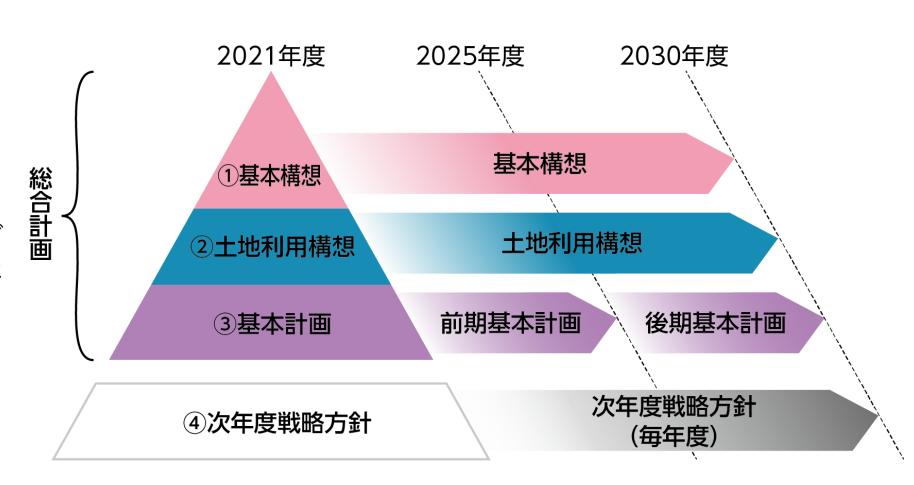
【概要版】



第6次藤枝市総合計画の構成

総合計画は、「基本構想」 「土地利用構想」「基本計画」 で構成する。

この計画の具体的な取組などは、別に「次年度戦略方針」として定める。



基本構想【10年間】

2030年度を目標年次として、10年後に目指す姿や都市像、ビジョンなどを示す。

土地利用構想【10年間】

2030年度を目標年次として、土地利用の基本方針や戦略的な土地利用の方針、地区別の土地利用構想などを示す。

基本計画【前期5年間、後期5年間】

基本構想で示した目指す姿などを実現するために、10年間を前期・後期に分け、まずは、2025年度までの5年間の政策・施策の方針を体系的に示す。

本市を取り巻く環境変化

日本の総人口の減少と人口構造の変化

- ・少子高齢化による人口減少が急激に進行
- ・生産年齢人口も大きく減少
- ・消費の低迷、空き家の増加等への懸念

自然災害、感染症等の様々なリスクへの懸念

- ・超大型の台風や突発的集中豪雨が頻発
- ・南海トラフ巨大地震発生の可能性
- ・新型コロナウイルスの世界的な感染拡大

技術革新の進展

- ・ I o T や A I 、ロボットなどの新技術の開発や活用、様々なサービスのデジタル化が進展
- ・社会経済全体でDXが進む時代に

持続可能なまちづくりの推進

- ・持続可能でよりよい社会の実現を目指す国際社会 共通の目標(SDGs)の推進
- ・地方創生に向けた持続可能な地域づくり

SDGs

(Sustainable Development Goals:持続可能な開発目標)

2015年9月の国連サミットで採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」にて記載された 2030年までに持続可能でよりよい世界を目指す国際 目標。

SDGsは発展途上国のみならず、先進国自身が取り組む普遍的なものであり、その達成に向けて政府や民間企業等のあらゆる主体が役割を担って取り組むこととされており、地方自治体もその一主体としての役割を期待される。

17のゴール

SDGsの17のゴールは、SDGsの核ともいえる重要なもので、以下のアイコンで表される。

SUSTAINABLE GALS DEVELOPMENT GALS

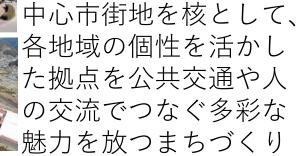


藤枝市の強みや魅力















市民の暮らしに直結す る4K(健康・教育・ 環境・危機管理)施策 の推進

4 Kを柱とした











豊かな自然

市内の7割を中山間地 域が占め、温暖な気候、 山や川など豊かな自然 あふれる、心地良く、 潤いと品格のあるまち









ICT・デジタルの活 用、スマートシティ

産学官一体となった、 まちづくりへのICT の戦略的な活用









広域交通 ネットワーク

JR藤枝駅、東名、新 東名、国一バイパス、 富士山静岡空港の近接 など広域交通が充実









歴史・芸術文化、 スポーツ

固有の歴史や、芸術・ スポーツ文化を活かし た個性あるまちづくり

SDGsのゴールに貢献する17の目標

SDGsの17のゴールに貢献する「藤枝市独自の17の目標 (ローカルSDGs)」を設定し、地方創生の一層の充実・ 深化とともに、その達成を目指す。

SUSTAINABLE GALS DEVELOPMENT GALS

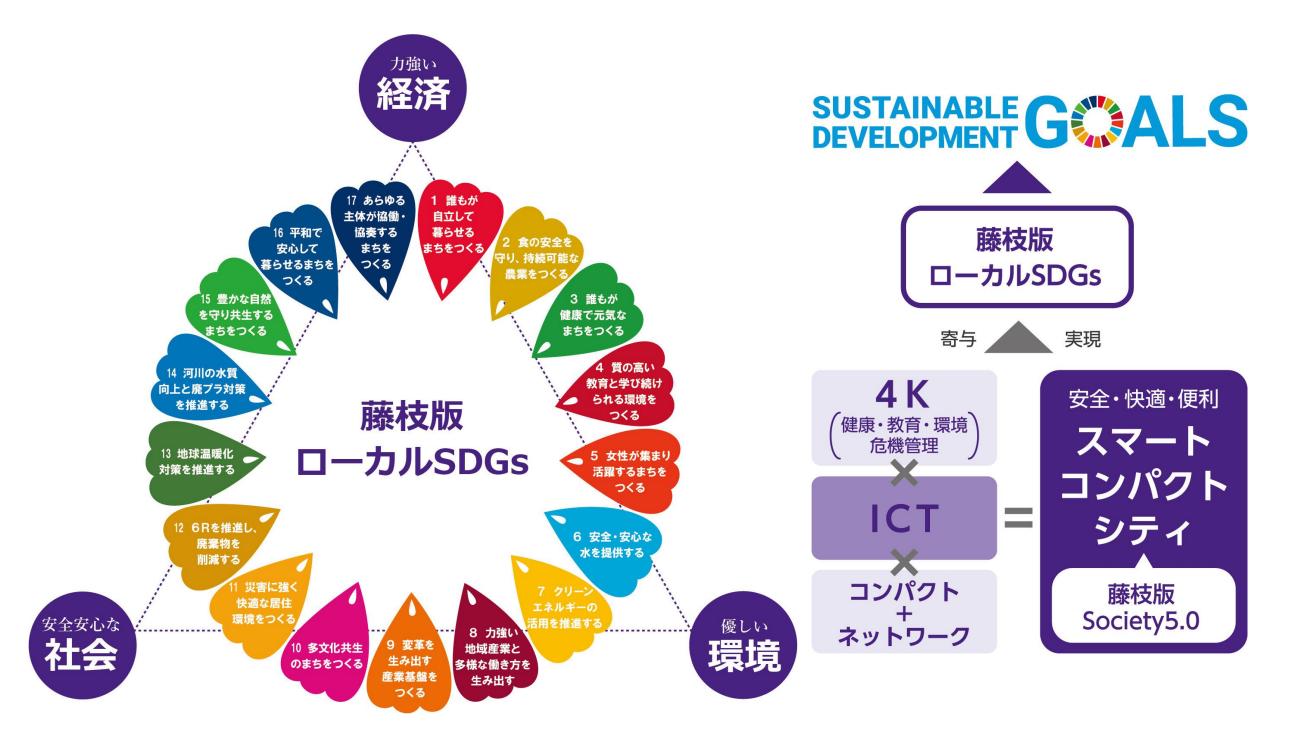






ローカルSDGsの実現

「4K(健康・教育・環境・危機管理)」施策と本市独自の「コンパクト+ネットワーク」のまちづくりに「ICT」を掛け合わることで、安全・快適・便利な「スマート・コンパクトシティ」を形成し、独自のSociety5.0を推進することにより、持続可能なまちづくりを進め、SDGsのゴールに貢献する。



基本構想の概要

基本理念

<u>"幸せになるまち"藤枝づくり ~まち・自然・文化と共生 未来へ飛躍~</u>

先人から継承した豊かなまちと自然、文化を本市の大切な資源として守り、さらに価値を高め、未来に向けてこれらが融合し発展したまちを築くこと、また、市民、企業、行政、大学などの多様な主体が想いを共有し、力を集結することで、全ての市民がこのまちで暮らし、働き、活動することで"幸せになるまち"を創造する。

| | 基本目標 | | | | <u></u> 断的な礼 | 日占 | 1 |
|---|------------------------------------|--|-------------|-----------|---------------------|--------|-------------|
| 1 | 市民の命と安全・安心 を守る藤枝づくり | 市民が災害や感染症、交通事故、犯罪などさまざまなリスクから命と暮らしを守られ、 安全で安心して快適に暮らせるまち・藤枝を創る。 | ① ① 新 | | 到的な1 3 安 全 | | ⑤ 女 性 |
| 2 | 市民の健康で豊かな暮らしを 実現する藤枝づくり | 市民が住み慣れた地域で助け合い、生きがいを持って活動し、健康で元気に活躍できるまち・藤枝を創る。 | ①新たな日常 | ②多極分散型社会に | 全・快適 | 単若者を中心 | 性、高齢者 |
| 3 | 子供が健やかに学び、育つ 藤枝づくり | 市民が結婚や出産の希望を叶え、楽しく子育てができ、健やかで思いやりがあり、たくましく生き抜く力がある子供を育むまち・藤枝を創る。 | 生活スな | お | ・便利なる | に人を呼び | 者の活躍 |
| 4 | 力強い地域産業を育み、 安心して働ける藤枝づくり | 市民が様々なスタイルで安心して働くことができる、新しいビジネスや賑わいが沸き 上がり、地域産業が持続し発展するまち・藤枝を創る。 | タイルへの | ける拠点都市 | スマート・ | ひ込むまち | |
| 5 | 魅力と活力、持続力ある 地域がつながる藤枝づくり | 市民が本市ならではの文化に触れ、幅広い交流が生まれる舞台となる、固有の豊かさや価値が輝く地域がつながり、多彩な魅力あふれるまち・藤枝を創る。 | 対応 | 部市づくり | コンパク | らづくり | |
| 6 | 豊かな自然環境と資源を守 り、次代につながる藤枝づく り | 市民が豊かな自然環境と共生し、限られた資源を大切にして地球環境を未来へつなげる持続可能な循環型のまち・藤枝を創る。 | | | トシティ | | |
| 7 | 夢と希望にあふれ、 未来につながる藤枝づくり | 市民が質と価値の高いサービスを享受でき、未来に期待を持てる、いつまでも住みたい場所として選ばれるまち・藤枝を創る。 | | | の形成 | | |
| | | | | | | | |

取組の基本姿勢

①市民とコミュニティが主役のまちづくりの推進 (市民の主体的な活動、「支え合い」「助け合い」のコ ミュニティの力・絆の発揮)

②多様な主体との協働・連携のまちづくりの推進 (市民や市民活動団体、自治会・町内会、企業、教育機 関等との協働・連携、広域連携) ③まちづくりを支える持続可能な行財政経営 (戦略的な都市経営、自立的な政策形成、人財育 成

堅固な行財政基盤の構築)

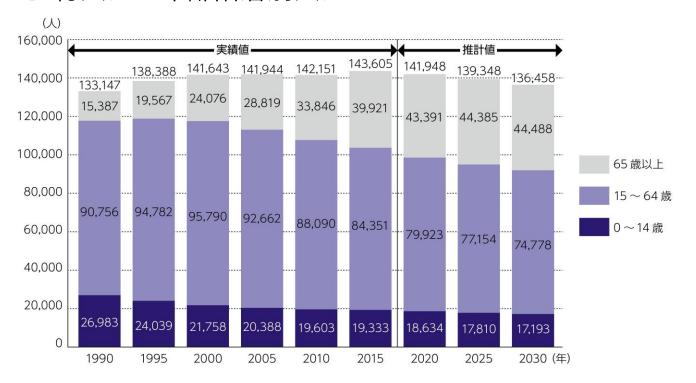
将来のまちの姿(人口動向と将来展望)

● 将来人口

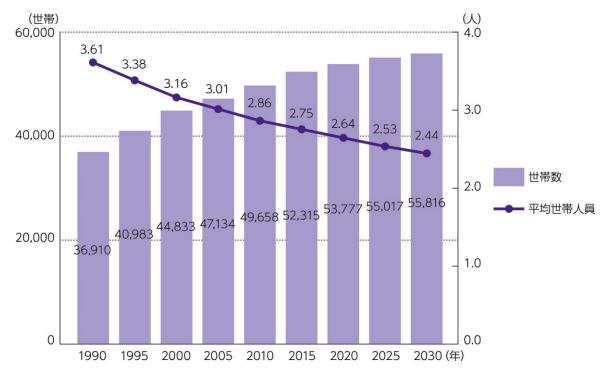
2030年における本市の人口や世帯数などの見通し

| 総人口 | 136,458人 |
|--------|----------|
| 世帯数 | 55,816世帯 |
| 平均世帯人員 | 2.44人/世帯 |
| 就業人口 | 67,700人 |

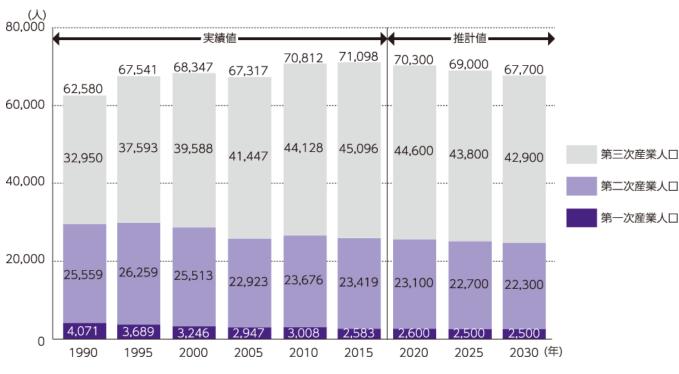
総人口・年齢階層別人口



● 世帯数と平均世帯人員



● 産業別人口



土地利用構想の概要

●土地利用構想について

- 国土利用計画法に基づき、市内の区域における土地の利用に関する基本的事項を定める。
- 基本構想に基づく、土地利用の基本方針として位置付ける。
- 市域を10地区に区分し、地区別土地利用構想を定める。

●土地利用の基本方針

「ふじえだ型コンパクト +ネットワーク」の形成

- 人口減少社会に対応した拠点集約型の都市構造への転換と、拠点相互が 有機的につながる「コンパクト+ネットワーク」のまちづくりを推進
- 道路・交通体系の確立により、各地域固有の資源を最大限に活かした、 多彩な魅力を放つまちづくりを推進

分散型社会における 拠点都市づくり

• 人口や経済が地方に分散する社会への転換が進むと予測される中、その受け皿となる機能が集約するまちづくりや土地利用を推進

広域連携による 力強い地域経済の確立

• 広域的視点に立ち、周辺自治体との役割分担や、広域交通インフラを活用 した機能の適正配置により、新たな産業を誘導する土地利用を推進

自然環境との共生

• 都市的土地利用と農用地の保全、自然環境とが調和・共生する土地利用を 推進

地域別整備施策の概要

土地利用の特性等を踏まえ、市域を7つのゾーン に区分し、特徴ある土地利用の展開を目指す範囲を 「エリア」として設定する。

中山間地域振興エリア

- ・農林業の再構築
- ・都市からの交流人口や関係人 口、移住者の受け入れ環境の 整備

旧東海道歴史文教エリア

- ・良好な街並み景観の形成、歴史的風土や文化財の保存
- ・歴史景観を楽しみながら散策で きる環境づくり

中心市街地活性化エリア

- ・中心市街地としての都市機能 の集積
- 駅を中心とした様々な拠点へのネットワーク化

広域都心エリア

・志太榛原地域の広域都心として の役割を担う都市機能の誘導

旧市街地総合再生エリア

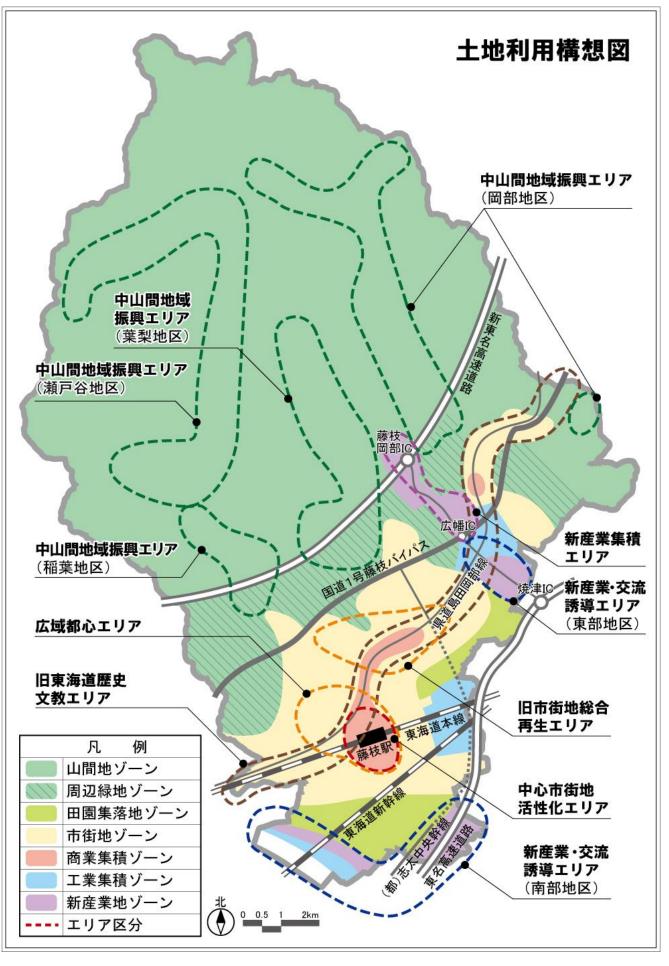
・蓮華寺池公園や旧東海道藤枝宿 を由来とする商店街等を活かし た新たな交流拠点

新産業・交流誘導エリア

- ・新産業や地域交流・商業等の 立地
- ・工業流通業務、研究開発や情報処理等の立地、新たな産業の創出、生活利便機能の立地

新産業集積エリア

- ・大規模農業や食関連産業の集積、 農業振興に資する施設の立地促 進、非常時の防災拠点づくり
- ・工場や広域物流施設等の集積



基本計画の概要

目標別の政策・施策展開

基本目標の達成に向けて、 2025年度までに実施する取組の 方向性や取組の達成度を測る指 標などを示す。

2 重点プロジェクト

目標別の政策・施策展開の施 策から、"選択と集中"による重 点的な取組を抽出し、重点プロ ジェクトとして位置付ける。

計画の実効性を高める 行財政経営の推進

藤枝型新公共経営の推進など、 行政としての基本的な姿勢や今 後10年間の財政経営方針などを 示す。

基本構想

基本計

まちづくりの基本理念

まちづくりの基本目標

実現に向けた具体的な取組

①目標別の政策・施策展開

目標1市民の命と安全・安心を守る藤枝づくり

目標2市民の健康で豊かな暮らしを実現する藤枝づくり

目標3子供が健やかに学び、育つ藤枝づくり

目標4力強い地域産業を育み、安心して働ける藤枝づくり

目標 5 魅力と活力、持続力ある地域がつながる藤枝づくり

目標6豊かな自然環境と資源を守り、次代につながる藤枝づくり

目標7夢と希望にあふれ、未来につながる藤枝づくり

藤枝型新公共経営・財政基盤

②重点プロジェクト

やかに暮らし活躍できるまちを創る

基本計画政策体系

基本目標1 市民の命と安全・安心を守る藤枝づくり

■政策

- 1 危機管理の充実・強化
- 2 感染症対策の強化
- 3 医療体制の充実・強化
- 4 交通安全対策の推進
- 5 防犯対策の推進
- 6 安全な住環境基盤の整備

基本目標 2 市民の健康で豊かな暮らしを実現する 藤枝づくり

■政策

- 1 健康づくりの推進
- 2 若い世代の暮らしの支援
- 3 高齢者支援の推進
- 4 地域福祉の推進
- 5 障害者支援の推進
- 6 地域コミュニティ・多文化共生の推進
- 7 生涯学習の充実
- 8 スマートシティの形成
- 9 品格と魅力ある都市空間の創造
- 10 安心な交通基盤づくり

基本目標3 子供が健やかに学び、育つ藤枝づくり

■政策

- 1 子育て支援の充実
- 2 学校教育の充実
- 3 地域ぐるみでの教育の推進
- 4 大学を核とした知の拠点づくり

基本目標 4 力強い地域産業を育み、安心して働ける 藤枝づくり

■政策

- 1 労働・雇用対策の推進
- 2 エコノミックガーデニングの推進
- 3 多様な企業の立地推進
- 4 新たな産業・ビジネスの創出
- 5 商業の振興
- 6 農林業の振興

基本目標 5 魅力と活力、持続力ある地域がつながる 藤枝づくり

■政策

- 1 観光・交流の推進
- 2 スポーツの推進
- 3 文化の振興
- 4 多彩な拠点づくり
- 5 中心市街地の活性化
- 6 中山間地域の活性化

基本目標 6 豊かな自然環境と資源を守り、 次代につながる藤枝づくり

■政策

- 1 地球温暖化対策の推進
- 2 資源循環の推進
- 3 自然と共生する生活環境づくり

基本目標 7 夢と希望にあふれ、未来につながる 藤枝づくり

■政策

- 1 市民目線による行政の推進
- 2 「選ばれるまち」づくりの推進
- 3 広域連携の推進
- 4 人財を活かす行財政経営

基本目標 1 市民の命と安全・安心を守る藤枝づくり

市民が災害や感染症、交通事故、犯罪などさまざまなリスクから命と暮らしを守られ、安全で安心して快適に暮らせるまち・藤枝を創る。

■政策

- 危機管理の充実・強化
 感染症対策の強化
 医療体制の充実・強化
- 4 交通安全対策の推進
- 5 防犯対策の推進
- 6 安全な住環境基盤の整備

■主な政策の成果指標

| 指標 | 基準値 | 目標値 |
|---------------------------------|-------|--------|
| 防災訓練に参加した市民の割合 | 28.6% | 30.8% |
| 感染症法による二類感染症以上 感染症のクラスター発生件数 | 0件 | 0件 |
| 病院事業会計の経常収支比率 | 100% | 100.5% |
| 登下校時における小・中学生の交通 事故発生件数 | 9件 | 0 件 |
| 市内犯罪発生件数 | 535件 | 500件以下 |
| 暮らしに関する満足度 | 32.2% | 36.5%ど |

■主な取組

- 自主防災組織の活性化推進
- 防災緊急情報配信システムの導入
- 集中豪雨などによる浸水対策の強化
- 市立総合病院のがん医療の高度化、救命救急診 療体制の充実
- 通園・通学路などの交通安全対策の強化
- 街頭防犯カメラ設置の促進
- 長期優良住宅の推進 など



AI河川水位予測システム



キッズゾーンの設置

基本目標 2 市民の健康で豊かな暮らしを実現する藤枝づくり

市民が住み慣れた地域で助け合い、生きがいを持って活動し、健康で元気に活躍できるまち・藤枝を創る。

■政策

- 1 健康づくりの推進
- 2 若い世代の暮らしの支援
- 3 高齢者支援の推進
- 4 地域福祉の推進
- 5 障害者支援の推進
- 6 地域コミュニティ・多文化共生の推進
- 7 生涯学習の充実
- 8 スマートシティの形成
- 9 品格と魅力ある都市空間の創造
- 10 安心な交通基盤づくり

■主な取組

- ICTを活用したデータヘルスの推進
- 新婚生活のサポート
- 不妊・不育治療支援の充実
- 在宅医療・介護連携の推進
- 総合的な相談支援体制の整備
- 地域コミュニティの拠点づくり
- 障害者テレワークオフィスの推進
- 社会人のリカレント(学び直し)教育の提供
- 市内循環バスの充実 など

■主な政策の成果指標

| 指標 | 基準値 | 目標値 |
|--|----------|----------|
| 健康マイレージ達成者数【2012年度 から累計】 | 2,842人 | 6,000人 |
| 20代30代の転入者数 | 2,577人 | 2,700人 |
| 自立高齢者の割合 | 84% | 84% |
| 福祉活動を行う市民団体数 | 202団体 | 250団体 |
| 福祉施設利用者の一般企業に就職 した人数 | 17人 | 30人 |
| 地区交流センター利用者数 | 540,385人 | 545,000人 |
| 生涯学習出前講座受講者数 | 6,519人 | 6,700人 |
| ICT等の先端技術等により施策 や事業構築に役立つデータ取得が 実現した件数 | 2件 | 7件 |
| 景観形成重点地区指定地区数 【2021年度から累計】 | _ | 2地区 |
| 広域的幹線道路(主要9路線)の平 均通行時間 | 18.8分 | 17.2分以下 |
| | | など |



見守りロボットによる生活支援

基本目標3 子供が健やかに学び、育つ藤枝づくり

市民が結婚や出産の希望を叶え、楽しく子育てができ、健やかで思いやりがあり、たくましく生き抜く力がある子供を育むまち・藤枝を創る。

■政策

- 1 子育て支援の充実
- 2 学校教育の充実
- 3 地域ぐるみでの教育の推進
- 4 大学を核とした知の拠点づくり

■主な取組

- 子育てと仕事の両立支援の充実
- 情報教育の推進とICT人材の育成
- 小中一貫教育、コミュニティ・スクールの推進
- 英語教育の充実
- 大学連携による地元産業と人材育成、マッチングなど

■主な政策の成果指標

| 指標 | 基準値 | 目標値 |
|-----------------------------|-------|------|
| 保育所等利用待機児童数 | 0人 | 0人 |
| 将来の夢や希望を持っている子供の 割合 | 76.5% | 78% |
| 放課後子ども教室の登録児童数 | 486人 | 710人 |
| 県内大学生の市内企業への就職者数 (連携6大学) | 48人 | 80人 |



ALTによる英語コミュニケーション学習



タブレット端末を活用した授業

基本目標 4 力強い地域産業を育み、安心して働ける藤枝づくり

市民が様々なスタイルで安心して働くことができる、新しいビジネスや賑わいが沸き上がり、地域産業 が持続し発展するまち・藤枝を創る。

■政策

- 1 労働・雇用対策の推進
- 2 エコノミックガーデニングの推進
- 3 多様な企業の立地推進
- 4 新たな産業・ビジネスの創出
- 5 商業の振興
- 6 農林業の振興



市内各所で進む新たな企業立地

■主な政策の成果指標

| 指標 | 基準値 | 目標値 |
|----------------------|---------|----------|
| 事業を通じた参加者の新規雇用就 | _ | 55人 |
| 業者数【2021年度から累計】 | _ | |
| 2018年度を基準とした法人市民税 | 100% | 107% |
| 収入増減率 | 100 /0 | 107 /0 |
| 企業立地件数【2011年度から累計】 | 79件 | 107件 |
| 農商工連携製品創出件数【2018年度 | 62件 | 110件 |
| から累計】 | 0217 | |
| 市内総生産における卸売・小売業、 | 1,455億円 | 1,545億円 |
| サービス業の生産額 | 1,433限口 | 1,343限円 |
| 農地利用集積面積【1980年度から累計】 | 850.6ha | 1,210ha |
| | | など |

■主な取組

- 中小・小規模企業の経営力強化の支援
- 首都圏企業の本社機能、サテライト機能の立地推進
- 食と農のアンテナエリア形成
- 商店街魅力アップ応援事業
- 農地集積・集約化の促進 など

基本目標 5 魅力と活力、持続力ある地域がつながる藤枝づくり

市民が本市ならではの文化に触れ、幅広い交流が生まれる舞台となる固有の豊かさや価値が輝く地域がつながり、多彩な魅力あふれるまち・藤枝を創る。

■政策

- 1 観光・交流の推進
- 2 スポーツの推進
- 3 文化の振興
- 4 多彩な拠点づくり
- 5 中心市街地の活性化
- 6 中山間地域の活性化

■主な政策の成果指標

| 指標 | 基準値 | 目標值 |
|---------------------------------|----------|----------|
| 観光交流客数 | 253万人 | 258万人 |
| 成人の週1日以上のスポーツ実施率 | 56.7% | 65% |
| 文化芸術に親しむ市民の割合 | 29.9% | 45% |
| 新たな地域まちづくりの形成件数 【2021年度から累計】 | _ | 4件 |
| 中心市街地の昼間の歩行者通行量 | 7,676人 | 8,300人 |
| 中山間地域における交流人口 | 266,216人 | 350,000人 |

など

■主な取組

- 日本遺産等歴史文化資源を活かした観光振興
- 総合運動公園サッカー場の再整備
- 陶芸の村づくりの推進
- 新たな拠点形成・まちづくりの推進
- 藤枝駅前地区市街地再開発の推進 など



日本遺産に登録された文化財



駅前一丁目 9街区再開発 イメージ

基本目標 6 豊かな自然環境と資源を守り、次代につながる藤枝づくり

市民が豊かな自然環境と共生し、限られた資源を大切にして地球環境を未来へつなげる持続可能な循環型のまち・藤枝を創る。

■政策

- 1 地球温暖化対策の推進
- 2 資源循環の推進
- 3 自然と共生する生活環境づくり

■主な取組

- ゼロカーボンシティの構築
- 食品ロス・廃プラ対策の推進
- 森林の適切な維持管理の推進
- 優良田園住宅整備の推進 など

■主な政策の成果指標

| 指標 | 基準値 | 目標値 |
|------------------|-----------------|---------------------|
| 市域全体の二酸化炭素の年間排出量 | 1,030 千t-CO2 | 897 千t-CO2 以下 |
| 1人1日当たりのごみ排出量 | 690g | 682g以下 |
| 水質汚濁に係る環境基準達成率 | 71.4% | 85.7% |
| 大気汚染に係る環境基準達成率 | 100% | 100% |
| | | など |



藤枝市浄化センター屋根を活用した太陽光発電



豊かな自然あふれる中山間地域

基本目標 7 夢と希望にあふれ、未来につながる藤枝づくり

市民が質と価値の高いサービスを享受でき、未来に期待を持てる、いつまでも住みたい場所として選ばれるまち・藤枝を創る。

■政策

- 1 市民目線による行政の推進
- 2 「選ばれるまち」づくりの推進
- 3 広域連携の推進
- 4 人財を活かす行財政経営

■主な取組

- 行政サービスのデジタル化推進
- 子育てファミリーの移住定住促進
- 都市ブランド戦略、シティ・プロモーションの推進
- ふじえだガールズ・ミーティングの展開
- しずおか中部連携中枢都市圏での連携強化
- 効率的な財政運営の推進 など

■主な政策の成果指標

| 指標 | 基準値 | 目標値 |
|---------------------|---------|---------|
| 市ホームページ閲覧ページ数 | 417.6万件 | 488.5万件 |
| 転入者数 | 4,691人 | 5,000人 |
| 広域連携事業数【2018年度から累計】 | 55事業 | 68事業 |
| 職員の働きがい実感率 | 76% | 90% |



藤枝市の情報あふれるホームページ



ふじえだ・ガールズミーティングによる市長への政策提言

総合計画の政策とローカルSDGsとの対応表

| 基本目標 | 政策 | 1 誰もが自立 して暮らせる まちをつくる | 2 食の安全を 守り、 持続可能な 農業をつくる | 3 誰もが健康 で元気な まちをつくる | 4 質の高い教育 と学び続け られる環境を つくる | 5 女性が集まり 活躍するまち をつくる | 6 安全・安心な 水を提供する | 7 クリーン エネルギーの 活用を推進 する | 8 力強い 地域産業と 多様な働き方 を生み出す | 9 変革を 生み出す 産業基盤を つくる | 10 多文化共生の まちをつくる | 11 災害に強く 快適な居住 環境をつくる | 12 6Rを推進し、 廃棄物を 削減する | 13 地球温暖化 対策を推進 する | 14 河川の水質 向上と 廃ブラ対策を 推進する | 15 豊かな自然を 守り共生する まちをつくる | 16 平和で安心 して暮らせる まちをつくる | 17 あらゆる 主体が協働・ 協奏する まちをつくる |
|-----------------------|-----------------------|--------------------------------|--------------------------------------|------------------------------|---------------------------------------|-------------------------------|-----------------------|------------------------------------|--------------------------------------|----------------------------------|------------------------|--------------------------------|-------------------------------|----------------------------|--------------------------------------|----------------------------------|---------------------------------|--|
| | 1-1 危機管理の充実・強化 | | | | | | | | | | | 0 | | 0 | | | | |
| 1 | 1-2 感染症対策の強化 | | | | · | | † | | | | · | 0 | † | | İ | ļ | | |
| 市民の命と | 1-3 医療体制の充実・強化 | 0 | | 0 | | | 1 | | | | | 0 | | · | 1 | 1 | | 0 |
| 安全・安心を守る | 1-4 交通安全対策の推進 | | | 0 | | | | | | | | 0 | | · | 1 | 1 | 0 | 0 |
| 藤枝づくり | 1-5 防犯対策の推進 | · | | · | | | | | | | | 0 | | · | 1 | | 0 | 0 |
| | 1-6 安全な住環境基盤の整備 | | | <u> </u> | | | | 0 | | | 1 | 0 | | 0 | 1 | 1 | 0 | |
| | 2-1 健康づくりの推進 | | 0 | 0 | | | | | | | | | | | | | | 0 |
| | 2-2 若い世代の暮らしの支援 | 0 | | 0 | | 0 | | | 0 | | | 0 | | | Ī | Ī | 0 | 0 |
| | 2-3 高齢者支援の推進 | 0 | | 0 | 0 | | | | | | | | | | | Ī | 0 | |
| 2 | 2-4 地域福祉の推進 | 0 | | 0 | 0 | | | | | [| 0 | | | Ī | Ī | Ī | 0 | 0 |
| 市民の健康で豊かな | 2-5 障害者支援の推進 | 0 | | 0 | 0 | | | | 0 | [| 0 | | | | | | 0 | 0 |
| 暮らしを実現する | 2-6 地域コミュニティ・多文化共生の推進 | 0 | | | 0 | 0 | | | | | 0 | 0 | | | | | 0 | 0 |
| 藤枝づくり | 2-7 生涯学習の充実 | 0 | | | 0 | 0 | | | 0 | | 0 | | | | | | 0 | 0 |
| | 2-8 スマートシティの形成 | 0 | | | 0 | 0 | | 0 | 0 | 0 | | 0 | | | | | 0 | |
| | 2-9 品格と魅力ある都市空間の創造 | | | 0 | | 0 | | | | | | 0 | | 0 | | 0 | 0 | 0 |
| | 2-10 安心な交通基盤づくり | 0 | | 0 | | | | | 0 | | | 0 | | 0 | | | 0 | 0 |
| 3 | 3-1 子育て支援の充実 | 0 | | 0 | 0 | 0 | | | | | 0 | | | | | | 0 | 0 |
| | 3-2 学校教育の充実 | 0 | 0 | 0 | 0 | | | | 0 | | 0 | 0 | | | | | 0 | 0 |
| うけんだいにより、 育つ藤枝づくり | 3-3 地域ぐるみでの教育の推進 | 0 | | 0 | 0 | 0 | | | | | 0 | | | | | | 0 | 0 |
| | 3-4 大学を核とした知の拠点づくり | | | | 0 | 0 | | | 0 | 0 | | | | | | | | 0 |
| 4 | 4-1 労働・雇用対策の推進 | 0 | | | 0 | 0 | | | 0 | 0 | 0 | | | | | | | 0 |
| 4 力強い地域産業を | 4-2 エコノミックガーデニングの推進 | | | | 0 | 0 | | | 0 | 0 | 0 | | | | | | | 0 |
| 育み、 | 4-3 多様な企業の立地推進 | | 0 | | | 0 | | | 0 | 0 | | | | | | | | 0 |
| 安心して働ける | 4-4 新たな産業・ビジネスの創出 | | 0 | 0 | | 0 | | | 0 | 0 | | | | | | | | 0 |
| 藤枝づくり | 4-5 商業の振興 | | | | | 0 | | | 0 | 0 | | 0 | 0 | | <u> </u> | | 0 | 0 |
| の本はスクトラ | 4-6 農林業の振興 | | 0 | | | | | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | | 0 | | 0 | | 0 |
| 5 | 5-1 観光・交流の推進 | | 0 | | | 0 | | | 0 | | 0 | | 0 | | ļ | 0 | | 0 |
| 魅力と活力、 | 5-2 スポーツの推進 | | | | 0 | 0 | | | 0 | 0 | | 0 | | | | | | 0 |
| 持続力ある地域が | 5-3 文化の振興 | | | | 0 | 0 | | | 0 | | | | | | | | 0 | 0 |
| つながる | 5-4 多彩な拠点づくり | | 0 | | | 0 | | | 0 | 0 | | 0 | | 0 | | 0 | | 0 |
| 藤枝づくり | 5-5 中心市街地の活性化 | | | 0 | | 0 | | | 0 | 0 | | 0 | | 0 | <u> </u> | | 0 | 0 |
| の本はスクマン | 5-6 中山間地域の活性化 | 0 | 0 | | | 0 | | | 0 | | | 0 | | 0 | | 0 | 0 | 0 |
| 曲かた白然理性 に | 6-1 地球温暖化対策の推進 | | | | | | 0 | 0 | | | | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | | |
| 豊かな自然環境と 資源を守り、次代に | 6-2 資源循環の推進 | | | | 0 | | 0 | | | | | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | | |
| つながる藤枝づくり | 6-3 自然と共生する生活環境づくり | | | | 0 | | 0 | | 0 | | | 0 | | 0 | 0 | 0 | 0 | |
| 7 | 7-1 市民目線による行政の推進 | 0 | | 0 | | | | | | 0 | | 0 | | | | | 0 | |
| 夢と希望にあふれ、 | 7-2 「選ばれるまち」づくりの推進 | 0 | | 0 | 0 | 0 | | | | | 0 | 0 | | 0 | | | 0 | 0 |
| 未来につながる | 7-3 広域連携の推進 | 0 | | 0 | | | | | 0 | 0 | 0 | 0 | | | | | 0 | 0 |
| 藤枝づくり | 7-4 人財を活かす行財政経営 | | | | | 0 | | | 0 | | 0 | | | | | | 0 | 0 |

重点プロジェクト(第2期ふじえだ健康都市創生総合戦略)の取組の方向性

(1) 目指すべき姿

"まち"と"ひと"が元気な健康都市・藤枝

~都市と産業の健全で持続的な発展と市民の安全・安心で健やかな暮らしの実現~

(2) 都市戦略の視点

コンパクトで輝きのある安全・快適・便利な 「スマート・コンパクトシティ」

- (3) 戦略の基本方針
 - コンパクト+ネット ワークのまちを創る

コンパクトでスマートな個性ある拠点づくりとつながりの強化により、藤枝ならではの多彩な魅力が溢れる、くらし、しごとの基盤を創る。

② 産業としごとを創る

産業とひとを育てつなげることで地域産業の健全な発展を応援し、魅力ある新たな産業を生み、働き住まう場として若者を惹きつけるしごと環境を創る。

③ ひとの流れを創る

多様な主体による交流を促進し、地域資源や人々の力を地域の力として活かし、若者や女性中心に、安心して訪れ、集まり、住まい、学び、交流するまちを創る。

④健やかに暮らし活躍できるまちを創る

若い世代の結婚・出産・子育ての希望が叶い、子どもが健全に成長し、いくつになっても健やかに安心して暮らし、年齢や性別、国籍に関わらず誰もが活躍できるまちを創る。

- (4) 横断的な視点
- 1 若者の定着の促進
- 2 女性、高齢者の活躍の促進

重点プロジェクト (第2期ふじえだ健康都市創生総合戦略)

4つの基本方針

コンパクト+ネットワーク のまちを創る 基本方針1

- (1)多彩な魅力を放つ 拠点を創る
- 多様な働き方 を生み出す

- ル あらゆる 主体が協働・ 協奏する

- (2)拠点同士をつなげる ネットワークを創る
- 13 地球温暖化 対策を推進 する
- (3)品格と魅力のある 都市空間を創る

- (4)"環境日本一"の まちを創る
- 4Rを推進し 廃棄物を 削減する
- |T |河川の水質 |汚染と |廃プラ対策を 型かな自然を 守り共生する まちをつくる

- (5)安全・安心な災害に 強いまちを創る

- 2 豊かな自然を 守り共生する まちをつくる

- (6)"交通安全日本一" のまちを創る
- .. 災害に強く 快適な居住 環境をつくる

産業としごとを創る 基本方針 2

- (1)力強い地域産業と 人材、雇用を創る
- (2)新たな産業、独自の ビジネスを創る
- (3) I C T でひととしごとを 呼び込むまちを創る
- - 4 質の高い教育 と学び続け られる環境を
- 力強い 地域産業と 多様な働き方
- 8 力強い 地域産業と 多様な働き方
- 17 あらゆる 主体が協働・ 迎奏する まちをつくる

- と学び続け られる環境を
- 多様な働き方
- 生み出す産業基盤を

基本方針3 ひとの流れを創る

- (1)移住・定住の 大きな流れを創る
- (2)地域全体で 大きな交流を創る
- (3)"藤枝の宝"を 活かしたまちを創る
- (4)市民が安心便利に 暮らせる環境を創る













あらゆる 主体が協働・ **企奏する**

健やかに暮らし活躍できる 基本方針4 まちを創る

- (1)出会いと独自の 子育て環境を創る
- (2)"教育日本一" のまちを創る
- (3)"健康・予防日本一" のまちを創る
- (4)安定・安全で高度な 医療体制を創る
- (5)スポーツ・文化を 活かしたまちを創る
- (6)市民の誰もが活躍 できるまちを創る















4 質の高い教育 と学び続け

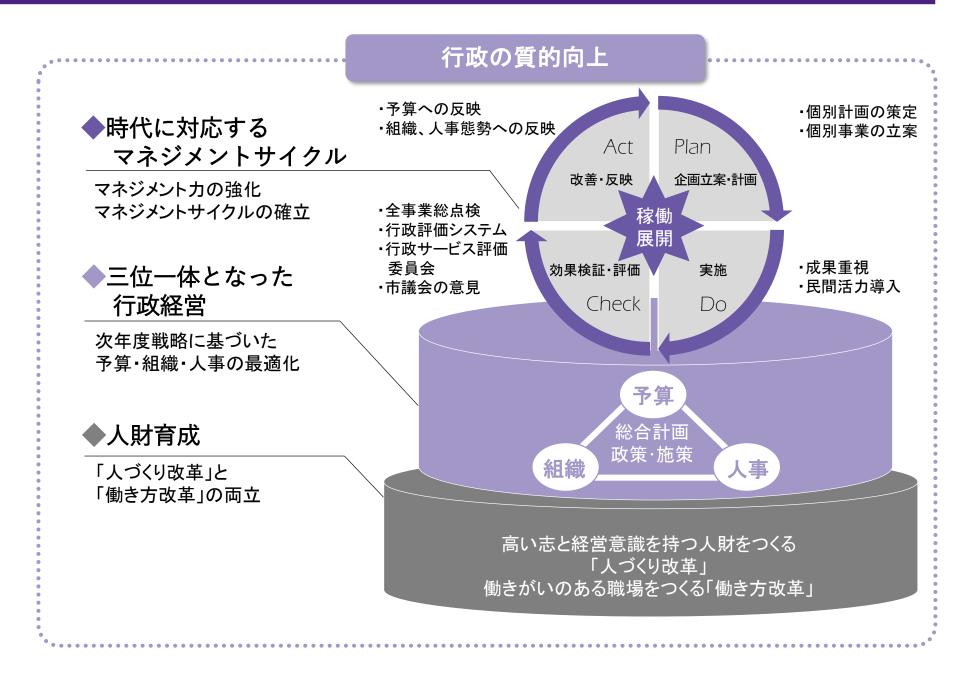
女性が集まり 活躍するまち

多文化共生の まちをつくる



藤枝型新公共経営の推進

費用対効果を柱とした 「成果志向」、顧客(市 民)視点により施策を確立 する「市民志向」を行政国 営の全てに導入し、人高め 中ビスの質を高人 市スービスの質をある 本市独自のマネジメン ステム「藤枝型新公共経 営」を推進する。



藤枝型新公共経営 の3本柱

- ① 時代に対応する「マネジメントサイクル」
- ② 実効力、機動力を高めるための予算・組織・人事の「三位一体の構築」
- ③ "人づくり改革"と"働き方改革"による「人財育成」

財政経営方針と財政収支の見通し

財政経営方針

①歳入・歳出の一体的見直し

積極的な歳入確保を進めるとともに、事務事業の見 直しや事業の効率化により歳出抑制を図るなど、歳 入・歳出の一体的な見直しに努める。

②資産の活用・債務の抑制

資産の活用と債務の抑制を図るなど、市が有する 様々な資産からさらなる財源が確保できるような取組 を進める。

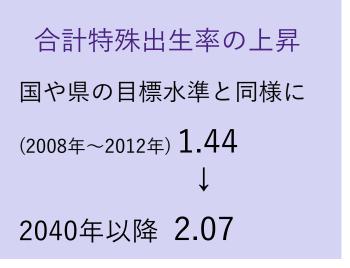
③財政情報の提供

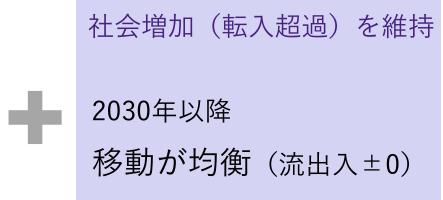
市の財政状況を市全体で共有・認識することがますます重要となることから、わかりやすい財政情報の提供を進める。

財政収支の見通し(抜粋)



人口の将来展望(目標)

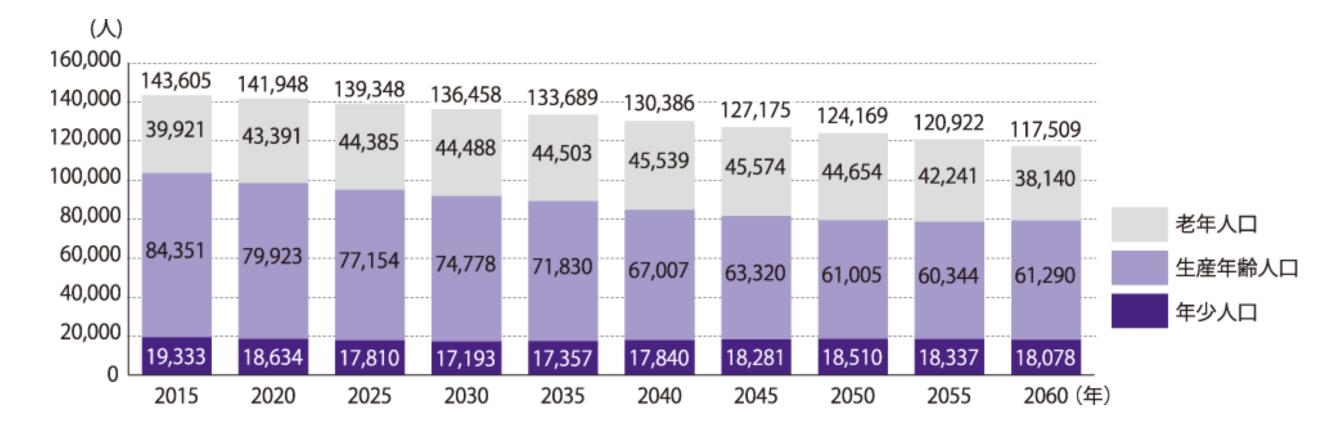




2060年に 約**11**万**7,500**人

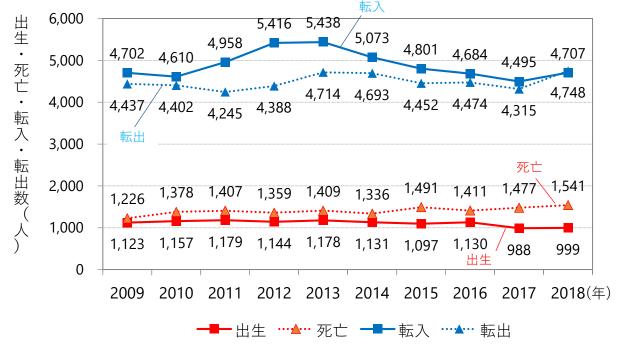
将来展望人口

目標人口(年齢3区分)



各種統計データ

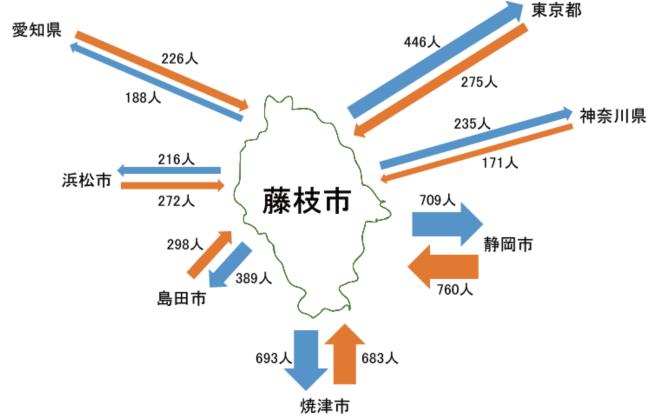
■出生・死亡、転入・転出の状況



● 近隣市町との合計特殊出生率の比較



転入・転出状況(2018年)



● 年齢階級別の人口移動の傾向

